



教員が研究の楽しさを語る

第194回(6/19)泉 賢太郎先生推薦

ブックガイド



※掲載されている本はL棟2階 あかりんアワーのコーナーに配架されます。

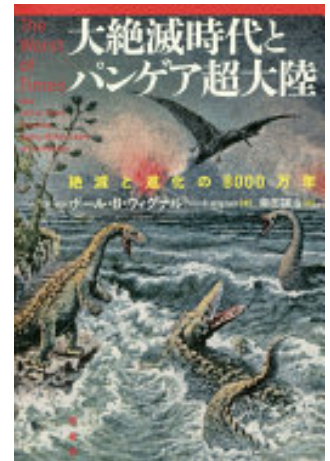
Book1

大絶滅時代とパンゲア超大陸：絶滅と進化の8000万年

著者：ポール・B・ウィグナル著；柴田譲治訳

出版：原書房，2016.2

コメント：短期間で生物種の多様性が急激に減少する現象を大量絶滅と言い、地球史上、そのような大量絶滅が何回か起こってきたことが知られています。大量絶滅は、その後の爆発的な進化を引き起こす側面もあるため、地質学者や古生物学者、地球化学者などが大量絶滅のメカニズムを解消すべく、こぞって研究を行ってきました。本書は、特に中生代と呼ばれる地質時代に繰り返し発生した大量絶滅にフォーカスを当て、最新の研究成果を交えて詳細な描像やメカニズム等を紹介しています。



Book2

生痕化石からわかる古生物のリアルな生きざま

著者：泉賢太郎著

ベレ出版（発行・発売），2017.10

コメント：生痕化石とは、生物の行動の痕跡が地層中に保存されたもので、“生物の行動の化石”と言えます。恐竜図鑑をはじめ、化石に関する本や図鑑はたくさんありますが、本書は生痕化石を題材として書かれた数少ない本のひとつです。本書では、生痕化石の実例を写真やイラストとともに紹介することで、古生物の生態にスポットライトを当てています。さらに、日ごろは垣間見ることが少ない、専門研究の現場の様子についても紹介されています。地層や化石について事前知識がない方でも気軽に読んでいただけるように意識して執筆しました。

